



カイロスの前髪

校長 清水 一司

古代ギリシャから伝わる「幸運の神には前髪しかない」という^{ことわざ} 諺があります。チャンスを意味する古代ギリシャ語を神格化したギリシャ神話の神である「カイロス」の容姿に由来しています。前髪が長く後ろ髪が無いカイロスについて、古代ギリシャの詩人が「出会った人が捕まえやすいように髪が前に垂らされている。だが後頭部には髪が無いため、追いかけて行って捕まえることはできない。」と述べたことから、「チャンスは訪れたそのときに掴まなければならない。」という意味で用いられています。

このカイロスの名を冠した宇宙ロケットを、3月13日に日本の民間会社が和歌山県で打ち上げました。しかし、ロケットが自ら機体の不具合を検知して飛行中断措置をとり、打ち上げの約5秒後に爆発してしまいました。このことについて社長の豊田氏は、「機体の破片は全て発射場敷地内に落下し、第三者に損害を与えなかった。安全な飛行中断ができた。」と語っていました。我々には残念な結果に思える爆発も、豊田氏は成果だととらえていたようです。さらに豊田氏は、「失敗という言葉は使わない。一つ一つの試みの中に新しいデータ、経験があり、全てが新しい挑戦の糧だ。諦めず前に進む。」とも語っています。

豊田氏の言葉に触れた時、私はエジソンの言葉を思い出しました。それまで数十時間しか点灯させることができなかった白熱電球の耐久性を高めるために、6000種類以上の素材をフィラメントとして試し、1万回以上の実験を重ねたエジソンは、「私は失敗したのではない。1万と通りのうまくいかない方法を見つけたのだ。」と語っています。そして、竹を素材にしたフィラメントを用いて1200時間も連続点灯させることに成功したのです。エジソンには、我々が想像する以上の探求心とねばり強さがあったのでしょうか。豊田氏にも、今回の爆発を糧にロケット開発の成功を期待したいと思っています。



学校教育目標

「溢れる英知 輝く笑顔」

～ 学習いっぱい
優しさいっぱい
元気いっぱい ～

さて、本校は169名の新入生を迎え、全生徒478名で令和6年度の教育活動を始動させました。本年度も、本校では多彩な教育活動を用意し、生徒の限りない可能性を伸ばせるように教職員一同努めてまいります。本校生徒には、いつ訪れるかわからないカイロスの前髪を確実に掴むことができるように、探究心をもって勉強や運動にねばり強く取り組んでほしいと願っています。